

平成27年度

平成28年1月7日

# 学校だより



夢に近づけ 今、鴨居がいいかも！  
横浜市立鴨居小学校

電話 045(931)2062

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamoi/>

明けましておめでとうございます。

校長 石原 敏宏

横浜では穏やかな年末年始を迎えました。新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈ります。今年は申（さる）年です。「悪いことが去る」「病が去る」というような良い一年になることを願っています。

さて、私は正月はいつも箱根駅伝をテレビで見ながら過ごしています。年末には全国高校駅伝も見ます。私は走るのが好きで、中学生の時には陸上部にいました。今でも健康のために月に1～2回ジョギングをしています。

長い距離をタスキをつないで走る駅伝は、日本で生まれた競技です。距離が長いと予想外のドラマが起き、またタスキを渡す時のランナーの表情が好きで、私は毎年見えています。「自分は頑張った。次のあなたも頑張ってくれ。」というようにタスキを渡す姿は素敵です。時に笑顔で次の走者の肩をポンとたたきながらタスキを渡したり、渡し終わるやいなやその場に倒れこんでしまったりするなど、約20キロを走り、力を出し切った選手の姿は様々です。

スポーツでは練習を重ね成果を出すまでの時間は長く、それを試合で表すのは僅かな時間です。長く弛まぬ練習があり、その成果の発表の場として試合があります。ですから、その試合を見る人が感動を覚えるのだと思います。

本校の4年生も昨年の11月末に、横浜市の文化体育館で市の小学校体育実技発表会に出場しました。表現運動で「祭り」をテーマに神輿や花火を表しました。4年生は4月から11月末まで、夏休みも含めて練習を続け、その成果を7分間の演技にまとめて発表しました。

柔軟運動を取り入れた練習の中で、子どもたちの体は徐々に柔らかくなり、立ったままの姿勢から体を後ろに反ってブリッジをしたり、足を180度近くに開脚し胸をぴったりと床につけたりなどができるようになりました。また、最初は照れてなかなか自分を表現できなかった子が、大きな声と動作で表現できるようになるなど、大きな成長が感じられました。見に来てくださった多くの保護者の方々からもたくさんの拍手をいただき、子どもたちが演技を終えてフロアから出てきたときのやりきった感のすがすがしい笑顔が素敵でした。

この発表会に出るまでの子どもたちの頑張りには頭が下がりました。また、支えてくださった保護者の皆様や指導に当たった本校の職員の努力にも敬意を表します。子どもたちの素敵な姿に感銘を受けた一日となり、「教育という仕事は素敵だなあ。」と改めて感じました。

今年も本校のスローガン「夢に近づけ 今、鴨居がいいかも」の具現化に向けて、教職員一同力を合わせてまいりますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

